

**ここに住んでいる。ここで働いている。だから、守れることがあります。**

阪神・淡路大震災・三宅島火山噴火・新潟県中越地震・尼崎列車事故・頻発する台風による豪雨災害・ニューヨーク同時多発テロ・ロンドンのテロ騒動・そして、首都直下地震・東南海地震……。

おそらく誰の記憶にも焼きついている……そして、発生した災害の拡大を食い止め、命を救い出したのはそこに生活、就労する消防団員だったということ。地域を熟知し、動員力と即応力のある消防団の存在。

**気づいてほしい……消防団の本当の姿に**



## 消防ポンプ車体験 & ちびっ子レスキュー

消防団員・職員が補助し、体験者の安全を最優先に行いました。

ラディアン裏側ふれあい広場：第一分団協力  
(平成18年11月12日、「湘南にのみや ふるさとまつり」にて)



↑ 写真左より坂本町長、柳川団長、杉崎副団長、村山副団長  
(平成19年1月7日出初式にて)

## 二宮町消防団本部 紹介

団長 柳川 駅 司 (第五分団出身)  
副団長 杉 崎 一 夫 (第四分団出身)  
副団長 村 山 光 (第一分団出身)

団長、副団長は5ヶ分団の分団長経験者から選出されています。柳川団長は、昨年、永年にわたる功績が認められ、現職の最高名誉となる消防庁長官永年勤続功労賞を受賞されました。



# 定期訓練

消防団は、月1回の定期訓練を行っています。



第三分団 ↓

↑ 第四分団



↓ 第五分団

↑ 第二分団



本番（火災）を想定しての放水訓練のもようです。  
有事の際、慌てず確実に水が出せるように操作ができるようになるためには、基本的な訓練も大切です。  
消防の操法等は、それほど難しいものではありません。  
放水訓練の他、ホース延長・結合、器具の操作訓練、消防ポンプ車の操作等、さまざまな訓練を行います。

# 地区防災と・・・

平成18年10月14日二宮町防災訓練の日、自治会の防災活動に参加。  
包帯や三角巾の使い方、急な疾患やケガに誰もが早急に対応ができるよう、応急手当等の普及・指導活動を行いました。



町立体育館前にて（第一分団協力）

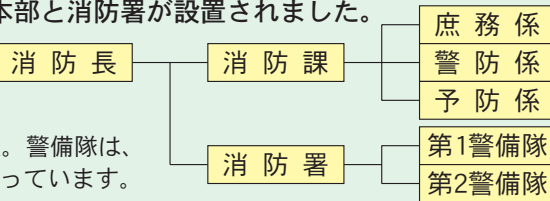


元町北防災コミュニティーセンターにて（第三分団協力）



昭和47年2月に二宮町消防本部と消防署が設置されました。

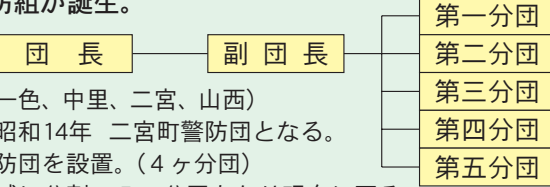
### 消防本部・消防署



現在、消防職員は、現在38人。警備隊は、2交代制で有事の出動体制をとっています。

明治17年、一色村に私設消防組が誕生。

### 二宮町消防団



明治37年 公設消防組を設置（一色、中里、二宮、山西）  
昭和12年 二宮消防組に統一。昭和14年 二宮町警防団となる。  
昭和23年 自治体消防として消防団を設置。（4ヶ分団）  
昭和29年 第二分団区域を2区域に分割、5ヶ分団となり現在に至る。

常備消防（昭和47年2月消防署）が設置されるまで、第一線での活動等、輝かしく永い伝統を持っています。

5ヶ分団で組織され、常備消防の協力機関として消防業務の活動をしています。

定員は、78人。消防業務が本職ではありません。



## 火災予防運動

防火啓発活動を行っています。

「防災意識を高めるよう」消防車による広報活動・巡回の他、消火栓・防火水槽の点検等を行います。

- 秋の火災予防運動 11月9日～15日
- 歳末特別警戒 12月25日～31日
- 春の火災予防運動 3月1日～7日

期間中、「お休み前の火の元点検サイレン」が21時より30秒間鳴らします。火災が発生しやすい季節（期間）なので、御理解のほど、よろしくお願いします。

## 二宮町消防出初式

平成19年1月7日（日）



消防署（はしご車）と全分団による一斉放水

当日は、ときおり強い風が吹きましたが晴天に恵まれ、盛大に挙行されました。会場で用意されたとん汁は、おいしかったです(^o^)

### 出初式って？

新春初頭にあたり、消防職・団員の士気を高揚し、旺盛な消防精神の滋養を図るとともに、消防技術の錬磨、厳正なる職・団員の規律、消防力の現状等消防の姿を広く一般に公開します。

また、この機会に一般住民への防火思想の普及と認識を高め、安全で明るい町づくりに貢献しようとするものです。



纏振込み及びはしご乗り演技  
(協力:平塚・大磯・中井・二宮の鳶職の皆様)



### 救助工作車お披露目

平成18年12月に新しく消防署に配備された工作車です。ウインチ搭載で、事故・災害等の救助に頼りになる一台です。

消防署と同じ？  
 消防の素人？  
 男の組織？  
 会社員には難しい？  
 家庭・家族で手一杯？

**では、ありません。**

気づいてほしい・・・  
**消防団の本当の姿に**

二宮町では、五ヶ分団あり、地形に明るくそこに暮らし働く団員だからこそ、いざという時に真っ先に駆けつけることができます。予測できない災害から地域を守るリーダー、それが消防団です。

## 地域防災のリーダー、消防団の活動

### 災害時

#### 消火活動

火災発生時、サイレン吹鳴で召集がかかり、出動します。常備消防(消防署職員)の協力機関として、消火活動にあたります。

#### 防災活動

台風や集中豪雨など、河川の氾濫や堤防の決壊を事前に食い止めるよう、土のう積み等の防災活動に当たります。



五ヶ分団と消防署の合同訓練  
 平成19年3月3日 町民運動場前

### 平穏時

#### 防火啓発活動

火災予防や防災指導を通して、住民の防災意識を高めるよう、地域の防災リーダーとしての役割を果たしています。

#### 定期訓練・機関点検

消防関連装備の習熟のため、器具操法訓練や、消防ポンプ車の機関点検等を毎月行っています。

#### 講習等

包帯や三角巾の使い方、救急救命法の習得等の講習を受けています。



ホース延長・結合(二分団)



三角巾講習会(四分団)

全国の消防団数  
 約2,600団

全団員数 約90万人  
 内被雇用者(サラリーマン)団員70%。

平成18年4月1日現在

**常備消防職員の約6倍の団員数です。**

## 消防団員募集

**「自分たちのまちは、自分たちで守ろう。」**



20代・30代の男子の方で分団活動に協力してくれる方を広く募集しています。より多くの方に消防団活動を経験してもらい、地域防災の一翼を担っていただきたく願います。任期・活動内容等は各分団ごとにことなります。

**公務災害補償制度**  
**被服の貸与**  
**退職報償金**  
**表彰制度**

問い合わせ  
 消防本部 消防課  
 ☎72-0015

第一分団 (川匂・釜野・越地・茶屋・梅沢)  
 第二分団 (上町・中町・下町)  
 第三分団 (元町・富士見が丘1・2・3丁目・松根)  
 第四分団 (中里・百合が丘1丁目)  
 第五分団 (一色・緑が丘・百合が丘2・3丁目)

消防団は、通常は自らの仕事を持ちながら、「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域の人たちのため、社会のために活躍されている人たちの集まりです。